

ねれかて

豊田市立平井小学校

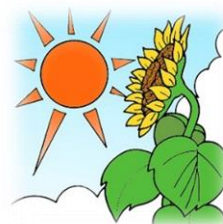
校長だより

令和6年 7月2日

ねばりづよい子、れいぎ正しい子、からだをきたえる子、てをつなぐ子

ハートフル週間(教育相談)を行いました

5月20日(月)～24日(金)の5時間目の時間にハートフル週間(教育相談)を行いました。教育相談は、子どもたちの悩みや問題を把握して解決に導くことにより、**よりよい学級生活が過ごせるようにすること**をねらいとしています。今後は、**養護教諭、スクールカウンセラー、心の相談員の方々**と十分に連携を図りながら相談の結果を職員で共有し、子どもたちの健やかな成長に役立てたいと考えています。教育相談を経て「先生と話せてよかった」と話す子どもたちの姿も見られました。**迷っていることや悩んでいることを話すこと**によって、**自分大切にされているという安心感**が生じ、自己肯定感につながります。また、自己理解が進むことによって、**自分を抑制したり主体的に行動したり**できるようになります。お忙しい中であると思いますが、保護者に皆様には、今後も**お子さんと学校での生活について話をする機会を大切に**していただきますようお願いします。



学習に取り組む子どもたち

5年生の算数の授業では、学習内容「合同な図形」で、図形を重ね合わせる操作を通して、合同の意味を理解する学習を行いました。

昨年度から本校で行っている**笑顔タイムを生かしたグループ学習**を通して、友達の考えと自分の考えを比較しながら「まわす ずらす 裏返す」ことにより合同な図形を発見する活動を行いました。授業の中で、いくつかの正方形をつなげて作成した図形の形や大きさに着目し「ぴったり重なる」ことを根拠に「合同」な図形になるための定義を導き出しました。**子どもたちは、自分とは異なる級友の考えに出会い、話し合いを経て新たな思考を始めることができました。**このような活動を単元を通して行うことにより、子どもたちは図形を多面的に捉えることができるようになります。



その後、至学館大学教授の鈴木正則先生から授業へのアドバイスをいただきました。平井小学校では、今後も子どもたちの協同解決型の授業を一層推進していきます。

何分までできるかな？

[算数クイズ]

○で囲まれた3つの計算の答えを足したものの合計で、一番大きくなる組み合わせになるのは右の式のうちどれでしょうか。

8	5	7	9	6	4
5	7	4	6	8	3
6	3	1	5	2	8

○	+	○	-	○	=	□
○	-	○	+	○	=	□
○	+	○	-	○	=	□

令和6年度 平井小学校長だより